

# しらふじ

第96号

令和7年2月1日  
発行 更生保護法人  
しらふじ  
発行責任者 大野美雄  
編集責任者 松本英史

# 聞こえてますか かっこの声か

No. 4 完結編

題字 袋井市曹洞宗可睡斎前山主  
安来市曹洞宗松源寺東堂 佐瀬道淳老師

元更生保護法人島根更生保護会主幹

川井 昭一

前号までのあらすじ

無期刑の受刑者・中里直（仮名）の環境調整を引き受けた川井氏は、中里の生家に向き、老いた母親から形見として託された白藤と白南天の植木を保護会の庭に移植します。15年の刑を終えて仮出獄し、母との再会を願う中里でしたが、家族から帰郷も墓参も拒まれます。罪の重さに打ちひしがれる中里を川井氏は白藤の棚の前に連れていきます。

## 母との再会

母親に会いたいという一心が、彼の受刑生活を支えていたし、また母親も息子の出所を待ちこがれていたであろう。その二人が会えないことになろうとは…。私は、雁山の隧道をうがつ一つちは中里を母親に会わせることではないか、それは彼の傷心をいやすことにもなるだろうし、更生への励みにもなるだろうと考えた。家族の思惑もあることなので、主任官と相談して彼の実家近くの保護司に、面会できる人目を避けられる場所と日取りの設定などの協力を依頼した。

その願いは間もなくかなえられ、中里と二人で彼の故郷へ向かった。列車から降りた私たちは目指す禅寺へと急いだ。御協力いただいた住職は、以前保護司を務められた方という。住職に促され書院のふすまを開けると、こたつにあたっていた保護司

と中里の母親が振り向いた。「お母さん」。中里の小さな声が漏れ聞こえた。「直さん」。母親の声がした。四人でこたつを囲むように座った。「永い間、迷惑をかけて申し訳ありませんでした。お父さんの死に目にも会えず親不孝しました」。中里は正座



写真はイメージです(大西大和氏提供)

して頭を下げた。「御苦労じやつた。ほんにえらかったのう。なんーか直さんじやなかごたる」。

長い歳月が親と子の会話を弾ませてくれない。もつと今までの苦労話もあるだろう。愚痴が出たつていいではないか。そうだがここに私たちがいてはいけないと気づき、保護司に声をかけた。「席を外しましょうか」。「うん、それがええのう。庫裏に行つてるから」。と言いながら私たちは立ち上がり、ふすまを閉めるのと同じ時であった。「直!!」。母親の音が振り絞つた声に変わった。「すまんでした」。「ほんに待つとつたばい。ほんに:」。母親の音が私たちを追いかけるように聞こえた。

## 丸き石一つ

故郷に帰ることは拒まれても、母親と再会できたことで、中里の顔には明るさが戻つた。仕事に就くこともでき、毎日出かけていく日々が続いた。雨で仕事に休みになったときなど事務室にやつて来て、世間話をして部屋に帰つていくこともあつた。

ある日、中里が「遺族に許してもらえないとは思わないが、わずかですが仏前に供えてもらいたいので、送ろうと思うがどうだろうか」とお金を持つてきた。以前、在監中にも一度職員を通して意向を伝えてもらったことがあるが、拒否されている。もう一度送つても受け取つてもらえるだろうかという危惧の念はあつたが、彼の気持ちを少しでも分かつてもらえらるならと、私は彼の志が伝わるような手紙の下書きを書いた。

遺族からの反応はなかつた。



写真はイメージです(小滝達也氏提供)

れぬ夜がある」。私にしても「忘れなさい」とは、死者の霊にすまぬことであり、返事に窮するのだ。「今からの人生を真摯に生きること、死者の霊も許してくれるのではないだろうか」と助言にもならぬマニュアルみたいな答えしかできなかった。

それからこんなことも言っていた。「刑務所の一五年も、人より一五年長生きすることで元がとれますね」。そうあつてほしいものだと思つた。

一五年の歳月をかけても肉親を殺害された遺族の心の傷は、いやされていなかつたのだろう。しかし身近に接する私には、中里が哀れに思えたのだつた。

こんなことを言うときもあつた。「二五年過ぎた今でも、あ

の時のことが脳裏に浮かんで眠

い晩秋の寒い夕暮れ、彼(五七歳)は心筋梗塞であつてなくこの世を去つた。遺体の引取りに初めは難色を示していた弟も、母親のたつての気持ちを受け入

れ、やっと引取りに応じてくれたのだった。

後日、彼の墓参を思い立ち、中里の故郷を訪ねた。今では寝たきりになっていて母親に悔やみを述べた上で、墓への道を聞いた。彼女の表情にはなぜか困惑とためらいが見られた。どうしてだろう……。やっと聞き出して教えられた坂道を登りつめた所に村の共同墓地があった。石で区切られた一画ごとに、それぞれの家名を刻んだ墓石が立てられている。中里家の墓石もその一画を占めてはいたが……。しかしそこは、中里直の安住の地にはなっていないかった。彼の墓はそこから離れた草むらの中にある。盛り上げた土の上に手ごろな石を置いた形ばかりのものであった。そうだったのか、あの老母の示した苦渋に満ちた表情の意味は。死してなお、孤独を強いられる彼の墓を見て、涙せずにはいられなかった。もう彼に語りかけるのは森の小鳥だけ

なのかと。

囚人というを解かれし人の墓丸き石一つ置かれてありぬ

(完)

※本稿は、更生保護法人日本更生保護協会発行の月刊誌「更生保護」平成13年12月号に掲載されたものを、原文のまま掲載しました。長い間のご愛読ありがとうございました。

## 施設の運営にご協力をお願い

施設や事業の充実のために物品や資金が必要です。そのためご寄贈をお願いし、会員を募集しています。会員と年会費は下記のとおりです。

しらふじ友の会  
会員の募集

- 賛助会員 2,000円以上
- 普通会員 5,000円以上
- 特別会員 10,000円以上
- 法人会員 20,000円以上

入金及び  
寄付金振込先 ゆうちょ銀行(口座番号) 01450-1-30366  
加入者名 更生保護法人しらふじ

詳しいことは、下記までおたずねください。

更生保護法人しらふじ 松江市奥谷町306-1  
TEL 0852-21-5383 FAX 0852-67-5393  
メールアドレス: shimanekouseihogokai@sage.ocn.ne.jp  
HP アドレス: http://shirafuji-shimane.com

しらふじ  検索  でも検索できます。

## 表彰

(敬称略)

### ◆瑞宝双光章

令和6年秋の叙勲

佐々木 滋子(副理事長)

### ◆全国保護司連盟理事長表彰

高木 早苗(評議員)

### ◆日本更生保護女性連盟 理事長表彰

山脇 里美(理事)

### ◆中国地方保護司連盟 会長表彰

白石 照雄(評議員)

### ◆中国地方更生保護施設連盟 会長表彰

米山 隆(常務理事)  
上田 喜平(職員)

### ◆中国地方更生保護女性連盟 会長表彰

深貝 登志子(理事)

### ◆松江保護観察所長表彰

景山 直観(監事)

## 役員員人事異動

(退職・新任・退任)

退任 (令和5年10月31日)

理事 吾郷 計宜

新任 (令和5年11月1日)

理事 西村 信之

退職 (令和6年3月31日)

補導主任 原 利行

新任 (令和6年5月1日)

補導主任 中西 和久

退任 (令和6年6月30日)

理事 山本 壽子

退職 (令和6年6月30日)

施設長 矢野 喜郎

昇格 (令和6年7月1日)

施設長 中西 和久

退職 (令和6年10月31日)

施設長 中西 和久

再任 (令和6年11月1日)

施設長 矢野 喜郎

# 来訪者

(敬称略)

- ◆ 食事支援 松江地区更生保護女性会  
城北支部 2名・忌部支部 1名
- ◆ コラージュ作成会  
松江地区更生保護女性会城北支部 4名
- ◆ 松江地検職員研修  
心の相談日
- ◆ 松江少年鑑別所 法務教官 1名
- ◆ 食事支援 松江地区更生保護女性会  
城北支部 2名・城東支部 1名  
・城西支部 1名・BBS 1名
- ◆ コラージュ作成会  
松江地区更生保護女性会法吉支部 4名
- ◆ 法話の集い 慈照院 佐瀬悠真 師  
奉仕作業
- ◆ 松江地区更生保護女性会雑賀支部 8名
- ◆ 法話の集い 洞光寺(松江) 諏訪文成 師
- ◆ 島根あさひ職員研修 4名
- ◆ 松江地区更生保護女性会食事支援  
雑賀支部 1名・法吉支部 1名  
城北支部 2名
- ◆ コラージュ作成会  
松江地区更生保護女性会雑賀支部 2名
- ◆ 松江少年鑑別所長離任挨拶
- ◆ 食事支援 松江地区更生保護女性会  
城北支部 2名・白濁支部 1名  
朝日支部 1名
- ◆ コラージュ作成会  
松江地区更生保護女性会白濁支部 4名
- ◆ 三宅松江保護観察所長着任挨拶
- ◆ 定着支援センター、着任挨拶
- ◆ 松江少年鑑別所長着任挨拶
- ◆ 中国更生保護委員会横地委員長視察

- ◆ 松江BBS総会
- ◆ 食事支援 松江地区更生保護女性会  
川津支部 1名・津田支部 1名  
城北支部 1名・BBS 2名
- ◆ 奉仕作業  
松江地区更生保護女性会朝日支部 4名
- ◆ 島根県BBS総会
- ◆ 島根あさひ社会復帰促進センター  
職員研修 4名
- ◆ 食事支援 松江地区更生保護女性会  
乃木支部 2名・古志原支部 2名
- ◆ 法話の集い 千光寺 坂真龍 師
- ◆ 済生会江津総合病院無料健康診断 4名
- ◆ コラージュ作成会  
松江地区更生保護女性会津田支部 3名
- ◆ 奉仕作業  
松江地区更生保護女性会津田支部 5名
- ◆ 食事支援 松江地区更生保護女性会  
城北支部 1名・生馬支部 1名  
BBS 2名
- ◆ コラージュ作成会  
松江地区更生保護女性会川津支部 4名
- ◆ 松江地区更生保護女性会新人研修 11名
- ◆ 断酒会会員 4名
- ◆ 七夕会 松江地区更生保護女性会 11名
- ◆ お出かけ健康教室  
食事支援 松江地区更生保護女性会  
城北支部 2名・古江支部 1名  
秋鹿支部 1名
- ◆ 島根あさひ社会復帰促進センター  
センター長、庶務課長着任挨拶
- ◆ 法話の集い 宗泉寺 澤 真樹 師
- ◆ コラージュ作成会  
松江地区更生保護女性会本庄支部 3名

- ◆ 出雲地区保護司会研修会 10名
- ◆ 気高地区更生保護女性会見学 19名
- ◆ 食事支援 松江地区更生保護女性会  
乃木支部 2名・古志原支部 1名  
城北支部 1名
- ◆ お月見会 松江地区更生保護女性会 18名
- ◆ 済生会江津総合病院無料健康診断 5名
- ◆ 島根あさひ社会復帰促進センター  
職員研修 4名
- ◆ 食事支援 松江地区更生保護女性会  
城北支部 2名・忌部支部 1名  
大庭支部 1名
- ◆ 鹿島地区更生保護女性会見学 17名
- ◆ 米子地区更生保護女性会見学 25名
- ◆ BBS研修会 18名
- ◆ 長門地区保護司会見学 7名
- ◆ コラージュ作成会  
松江地区更生保護女性会古江支部 3名
- ◆ 法話の集い 洞光寺(木次) 堀江紀宏 師
- ◆ しらふじバザー  
松江地区更生保護女性会 8名  
BBS 1名
- ◆ 平田地区更生保護女性会 2名
- ◆ 伊野支部見学 2名
- ◆ 島根地区更生保護女性会 8名
- ◆ 大芦支部見学 8名
- ◆ 済生会江津総合病院無料健康診断 5名
- ◆ 司法修習生研修 7名
- ◆ 平田地区更生保護女性会 7名
- ◆ 国富支部見学 7名
- ◆ 心の相談日  
松江少年鑑別所 法務教官 1名
- ◆ コラージュ作成会  
松江地区更生保護女性会生馬支部 3名

- ◆ 食事支援 松江地区更生保護女性会  
城北支部 2名・法吉支部 1名  
雑賀支部 1名・BBS 2名
- ◆ 断酒会会員 2名
- (令和6年1月1日～令和6年12月31日)
- ◆ さんびる防災社
- ◆ 西徳部
- ◆ 松江ライオンズクラブ
- ◆ 佐田地区更生保護女性会
- ◆ カナツ技建工業株式会社
- ◆ 美保関地区更生保護女性会
- ◆ 吉田トキ江
- ◆ 田中廣
- ◆ 矢野喜郎
- ◆ 某善人(匿名)
- ◆ 大仁地区更生保護女性会
- ◆ 東出雲地区更生保護女性会
- ◆ 常教寺
- ◆ 宍道地区更生保護女性会
- ◆ 松江地区更生保護女性会
- ◆ 古川義郎
- ◆ 佐々木滋子
- ◆ 青木薫代
- ◆ 出雲地区保護司会
- ◆ 気高地区更生保護女性会
- ◆ 平田地区更生保護女性会平田支部
- ◆ 松江湖城ライオンズクラブ
- ◆ 鹿島地区更生保護女性会
- ◆ 有限会社香川建設
- ◆ 長門保護区保護司会
- ◆ 玉湯地区更生保護女性会

# 寄付金

(敬称略)



## 寄付品

(敬称略)

- ◆ 安栖院 家島暉等
- ◆ 隠岐の島町更生保護女性会
- ◆ 島根県更生保護女性連盟
- ◆ 日蓮宗島根県社会教化事業協会  
(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

- ◆ 松浦高子 / マスク
- ◆ 千葉哲之 / 食品・タオル・洗剤
- ◆ 吉野光徳 / 野菜
- ◆ 金子卓雄 / 食品
- ◆ 四葉福祉社 理事長 青戸雄一  
/ 衣類等日用品
- ◆ 石川正伸 / お菓子
- ◆ 石川咲子 / 洗剤
- ◆ 小原研之 / お菓子
- ◆ 長谷川正樹 / 作業着
- ◆ 内藤美智子 / コラーージュ用雑誌
- ◆ 青木薫代 / お茶
- ◆ 佐田地区更生保護女性会 (窪田支部)  
/ タオル・トイレットパーパー等
- ◆ 稲田宗 / 実習服
- ◆ 邑智地区更生保護女性会美郷支部 / 米
- ◆ カナツ技建工業株式会社 / 作業着
- ◆ 浪花秀明 / 果物・お菓子
- ◆ 更生保護施設等支援協議会  
/ お菓子・食品等
- ◆ 吉田トキ江 / タオル
- ◆ 山岡喜美子 / 衣類・靴下
- ◆ 佐々木道子・竹田克己 / 野菜
- ◆ 松江ライオンズクラブ  
/ 食品・日用品
- ◆ 平田地区更生保護女性会  
(伊野支部) / 衣類等日用品



松江ライオンズクラブ

- ◆ 内田光代 / 野菜
- ◆ 橘由美子 / 衣類・のり
- ◆ 安来地区更生保護女性会 / 米
- ◆ 飯塚和子 / 野菜
- ◆ 總光寺 / 調味料
- ◆ 廣澤延子 / 野菜
- ◆ 金森恵美子 / 衣類
- ◆ 出雲地区保護司会  
/ 衣類・日用品・食品
- ◆ 江津地区更生保護女性会 / 衣類
- ◆ 気高地区更生保護女性会 / お菓子
- ◆ 藤原紀美子 / 衣類
- ◆ 佐々木滋子 / バザー用品
- ◆ 松尾和子 / 衣類
- ◆ 松江湖城ライオンズクラブ  
/ お菓子・食品・日用品
- ◆ 長安寺 / 日用品・食品
- ◆ 和工業 / 米・野菜
- ◆ 鹿島地区更生保護女性会 / 日用品・食品
- ◆ 千葉哲之 / 米
- ◆ 邑智地区更生保護女性会  
(川本支部) / 日用品
- ◆ 安栖院 家島暉等 / バザー用品
- ◆ 板倉靖子 / バザー用品
- ◆ 神光寺 渡部亮学 / バザー用品
- ◆ 全隆寺 / バザー用品
- ◆ 竜覚寺 / バザー用品
- ◆ 石川正伸 / バザー用品
- ◆ 地福寺 大阪恵司 / バザー用品
- ◆ 山中泰江 / バザー用品
- ◆ 清安寺 新宮康正 / バザー用品
- ◆ 宗泉寺 / バザー用品
- ◆ 邑智地区更生保護女性会 (邑南支部)  
/ 野菜・日用品・米



湖城ライオンズクラブ



出雲地区保護司会

- ◆ 青木薫代 / バザー用品
- ◆ 龍雲寺 西尾清文  
/ バザー用品
- ◆ 西村信之 / バザー用品
- ◆ 田中幹子 / バザー用品
- ◆ 稲田宗 / バザー用品
- ◆ 内田光代 / バザー用品
- ◆ 洞光寺(松江) / バザー用品
- ◆ 松江市役所健康福祉部  
松原正部長 / バザー用品
- ◆ 浪花秀明 / バザー用品
- ◆ 陶山和實 / バザー用品
- ◆ 大野美雄 / バザー用品
- ◆ 徳久幹之 / バザー用品
- ◆ 矢野喜郎 / バザー用品
- ◆ 原利行 / バザー用品
- ◆ 土屋奈津子 / バザー用品
- ◆ 柿田健二 / バザー用品
- ◆ 龍徳寺 / バザー用品
- ◆ 浄心寺 / バザー用品
- ◆ 籠寛子 / バザー用品
- ◆ カナツ技建工業株式会社 / バザー用品
- ◆ 神庭恭子 / 衣類
- ◆ 平田芳子 / お米
- ◆ 島根地区更生保護女性会 / 衣類
- ◆ 浄心寺 / 日用品
- ◆ 平田地区更生保護女性会 (国富支部)  
/ 野菜
- ◆ 邑智地区更生保護女性会  
(川本支部長 佐々木ミチ子)
- ◆ 斐川地区更生保護女性会 / 米・日用品・米
- ◆ 真誠興業 須田誠 / お菓子
- ◆ 美濃本守 / 作業着

## 助成金

更生保護法人島根保護観察協会  
(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

安立律子 / 餅  
(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

## しらふじ友の会

(敬称略)

- ◆ 贊助会員
  - ◆ 内藤昇
  - ◆ 中路秀夫
  - ◆ 安田章夫
  - ◆ 黒田西原なごやか会
  - ◆ 糸川順子
  - ◆ 山田信之
  - ◆ 古藤美紀
- ◆ 普通会員
  - ◆ 中西幹
- ◆ 特別会員
  - ◆ 宗泉寺 澤真吾
  - ◆ 安来地区保護司会
  - ◆ 大仁地区更生保護女性会
  - ◆ 野津雅史
  - ◆ 青木薫代
  - ◆ 江津地区更生保護女性会
  - ◆ 邑智地区保護司会
- ◆ 法人会員
  - ◆ カナツ技建工業株式会社
  - ◆ 松江地区更生保護女性会
  - ◆ 曹洞宗島根県第二三務所第三教区  
(令和6年1月1日～令和6年12月31日)



# 写真アラカルト



卓球大会



法話の集い



作業服の寄贈を受ける  
(松江工業高校)



健康診断



七夕会



バザー

## 白南天

〓 隠岐は絵の島 花の島

磯にや浪の花咲く

里にや人情の花が咲く

〓 昨夏、久しぶりに隠岐の島を旅しました。学生時代に友と舟釣りを楽しんだのを皮切りに、家族旅行や仕事などで幾度となく訪れていますが、その度に「しげさ節」の歌の文句にある「人情の花」に触れては、後ろ髪をひかれる思いで島を後にしています。

〓 あんなことがありました。40年前30歳半ばのころです。島前、島後の行く先々で「島に残らないか」と誘われ、「妻子があるから」と断つても「構わないから、残ってくれ」「島の娘と結婚してくれ」。理屈に合わず、素性を知らないことなど一切お構いなし、海の幸と地酒で口説き落とそうという、すさまじい攻勢にたじろいでしまいました。私はかろうじて「逃れたのですが、情にほだされ島に残った」にも少なからずいたとか、いなかったとか。

〓 こんなこともありました。大敷網の取材を終えて船から降りる間際、水揚げしたばかりのタイやトビウオ、サバなどを無造作にト口箱に入れ「持つて帰れや」。まだ数日間滞在の予定で扱いに困り、民宿先に横流し？したことがありました。

〓 おまけにもう一つ。小島での取材が長引き、内航船の最終便に乗り遅れてしまいい途方に暮れていた時です。取材したご老人が自前の小船を出して、わざわざ送ってくださいましたのです。それも、我々がコンビニに買い物に行くような、何気ない所作で…。

〓 そして昨夏、セレモニーが終わり、夕方に漁協のセリ場であったバーベキューパーティーでは捕れ捕れのサザエやカキ、ヒオウギガイ、それにタイの一夜干し、隠岐牛が出るわ出るわ。地酒で酔うほどに小欄での紹介がはかれるような出し物が続き、かくして隠岐の夜は更けていったのでした。

〓 翌朝、予定していた高速船「レインボー」が高波のため欠航になると、「せつかくですから」とホテル側がマイクロバスを出し、フェリー乗船までの空き時間に島内の観光案内までしていただいたのです。

〓 ここまでも恐縮ものですが、フェリー乗り場に着くと前夜に杯を交わした隠岐の面々や西ノ島の町長さんまでがズラリ、手にした小旗を振り、「またね」の横断幕を揺らしながら岸壁の先まで見送っていただいたのには感動してしまいました。

〓 絵のような風景と自然、厚い人情で訪れる人々を魅了する隠岐の島。しかし、隠岐に住む人々たちへのエトランゼの質問は似たり寄ったりといえます。「交通が不便」「コンビニが早く閉まる」などなどから「不便ではありませんか？」と。これに対する隠岐の人たちの答えは明快でした。「不便と思ったことはない」。海が荒れるなら、「コンビニ」が早く閉まるなら、それを見越して多めに食料を買っておけば済むことと、にべもありませんでした。

〓 「ないものはない」宣言をした海士町。不便を逆手に取り、島留学制度や宝物探しなどでイターンを呼び寄せ全国的に注目を集めています。無駄なものを求めず、人のつながりを大切にしたいシンプルな生活こそ本当の幸せではないのか。この問いかけに、我々はどのように答えるのでしょうか。(瑛)